

中河原駅前の歩道橋にエレベーターを設置できないか

都から設置スペースの確保等 慎重な検討が必要であるとの 聞いてい



▲中河原駅北歩道橋周辺

赤野 秀一 議員(共産) 平成28年第1回定例会で、中河原駅前交差点への横断歩道設置について、交通量調査の結果を踏まえ、警視庁と調整を行

っているとの答弁があったが、進捗状況は。また、歩道橋の近くに横断歩道は設置できないとする根拠法令はあるか。生活環境部長 府中警察署によると、調査後に検討した結果、当該地が変則的な五差路であること等、多くの課題があり横断歩道の設置については困難な状況と聞いている。根拠法令は定められていないが、交通規制に関する設備の設置基準は定められている。議員 中河原駅前の歩道橋にエレベーターを設置することはできないか。

都市整備部長 道路管理者である都からは、設置スペースの確保等、慎重な検討が必要であると聞いており、設置は困難な状況である。議員 C V 22 オスブレイの横田基地への配備前倒しについて●個人情報の漏えい問題について

一問一答 事業の見直し・廃止に当たっては、市民への事前の説明や相談を一切しないつもりなのか

今後、改良すべき点は、改良していくべきものと考えている

目黒 重夫 議員(共産) 公共施設の使用料見直しに関する議案が可決された後、市民説明会を行ってきた市の姿勢に対し、参加者からは厳しい意見が寄せられている。新規事業の実施に当たっては、経過も含めた市民参加が大分進んでいることから、今後は事業の見直し・廃止においても同様の丁寧な説明が必要と思うがどうか。政策総務部長 市民の代表である議会への説明を基本としながら、効果的な手法を選択

学校現場における性教育について どのような議論がされているか

校長会に課題や実態を確認しており、今後は教育委員会と校長会で課題等を共有し対応していきたい

須山 卓知 議員(市友) 性と生殖に関する健康・権利、いわゆる「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」について、市の認識は。市長 妊娠、出産は心身に大きな影響を及ぼすことなどから、女性の重要な人権の一つであるとともに、男女が対等な関係において、性に関する適切な自己決定ができるというた男性の役割と責任も含まれるものと捉えている。議員 世界では、ユネスコが包括的性教育の重要性と方向

性を示したガイダンスに沿って、性教育が段階的に必修化されてきているが、日本では国際的な教育プログラムがまだに導入されていない。そのような中、学校現場では、性教育についてどのような議論がされているか。教育部長 性教育については、多様な課題があるため、校長会に課題や実態を確認しており、今後は、教育委員会と校長会で現場の課題等を共有し、適切に対応していきたい。

公園の利用度を高めるためのパークマネジメントについて 検討を行う考えは

大規模改修等の機会を捉え、地域の声を聞きながら段階的な施設改修を進めていく

遠田 宗雄 議員(公明) 第6次府中市総合計画後期基本計画において、市道や公園等における緑化対策や管理計画はどのように示され、実施されているのか聞きたい。市長 限られた財源の中で安全で快適な環境を築いていくことを示し、道路等包括管理事業を初めとする官民連携の取組を推進するほか、インフラマネジメント計画等の見直しにも取り組んでいる。議員 緑化にこだわらない道



パークマネジメントの実施については、大規模改修等の機会を捉え、地域の声を聞きながら段階的な施設改修を進めていく。 服部 ひとみ 議員(共産) 障害者福祉サービス利用者が65歳になると、介護保険サービスが優先される原則を改善する必要があると思

福祉保健部長 原則として介護保険サービス移行後は、全員が負担増となるが、新たな軽減措置が設けられたことにより、一定の配慮が行われていると認識している。議員 介護保険サービスの機能に見合うのか

街路樹等の維持管理を計画的に進めるプランを作成する考えは

計画の策定などを検討する必要があるものと考えている



▲街路樹の剪定作業

西宮 幸一 議員(市友) 市道については、歩行者や沿道住民の快適性に支障が生じないよう、迅速かつ質の高い維持管理が不可欠と考える。特に街路樹においては、沿道住民等からの改善要望が少なくないと思うが、街路樹の剪定体制はどのようになっているのか聞きたい。都市整備部長 職員

及び委託事業者が剪定を行っており、低木は年1回、高木は3年に1回実施することとしている。なお、民地越境や支障枝は、その都度剪定している。議員 安全で快適な道路であり続けるためには、要望を受けてからの個別対応に頼るだけでなく、幹線市道単位で街路樹等の維持管理を計画的に進めるプランの作成を行うべきと思うがどうか。都市整備部長 今後は更に樹木の

フレイルサポーターに対する市の見解は

サポーター自身の健康維持等にもつながることから、介護予防の効果があるものと考えている

福田 千夏 議員(公明) 市が従前より実施している健康増進策などの多くは、フレイルの予防につながるものと考えているが、このフレイルに関連する事業をどのように体系化していく考えか。市長 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、高齢者の健康づくりから介護予防までを体系的に実施することとしており、今後多面的に支援する取組を進めていきたい。議員 全国では、フレイルチェックの運営方法を学ぶためのフレイルサポーター養成講座の取組が広まってきているが、このサポーターに対する市の見解は。福祉保健部長 フレイルチェックを通じて人との関わりに喜びを感じるなど、サポーター自身の健康維持等にもつながることから、介護予防の効果があるものと考えている。*フレイル：加齢による心身の虚弱等

性的少数者―多様な社会の実現を―